名前は「ハトシ」です。
エビをはさんだトースト、
という意味です。

明治時代に清国からやってきました。中国語にすると「蝦多士」。
蝦（ハー）はエビ、多士（トーシー）は焼いた食パン。
その名のとおり、エビのすり身を食パンにはさみ、それを油であげたものです。
昔は長崎名物の卓袱（しっぽく）料理の一品でしたが、その美味しさ、
そして手軽につまめる楽しさから、独立した食べものとして愛されるようになりました。
いまでは、料理店や食品店の店先に並んでいたり、お祭りなどのイベントでは屋台が出ることも。
片手に持って食べ歩く若者たちを見ると、まさにご当地ファストフード。
おむすびやサンドイッチなど、ワンハンドフードのバリエーションはどんどん多彩になっています。
ブームのひと足前に、現地のハトシはいかがでしょうか。

大人気のローカルフード
ハトシ

長崎で、会いましょう。

一般社団法人 長崎国際観光コンベンション協会